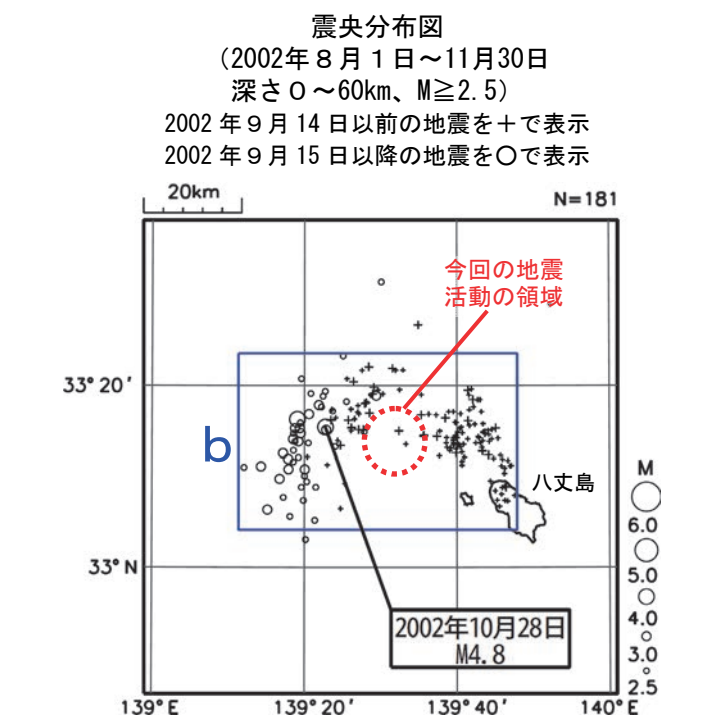
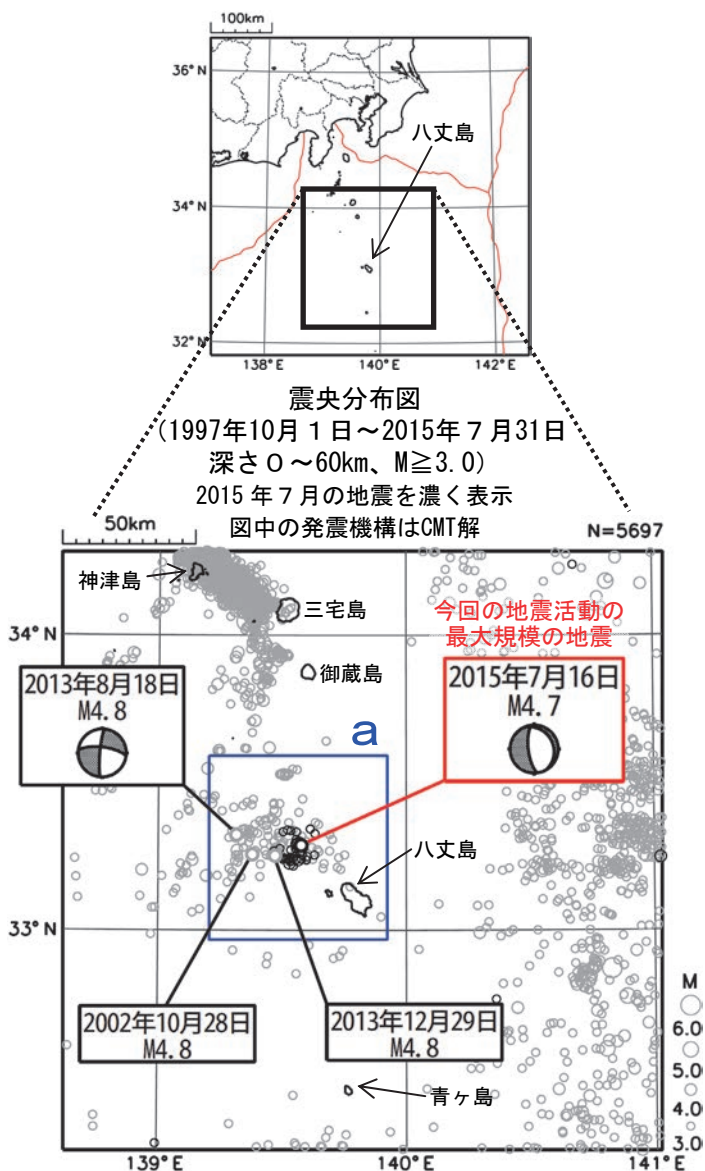


7 月 14 日からの八丈島近海の地震活動

2015 年 7 月 14 日から八丈島近海で地震活動がやや活発になり、震度 1 以上を観測する地震が 17 日にかけて 11 回（最大震度 2：3 回、最大震度 1：8 回）発生した。この活動は 7 月 18 日以降低調であった。最大規模の地震は、16 日 15 時 13 分に発生した M4.7 の地震（最大震度 2）であった。この地震は、発震機構（CMT 解）が東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の活動の震央付近（領域 a）では過去に何度かまとまった活動が発生している。2002 年 8 月～11 月の活動では、最初に八丈島付近でまとまった活動が始まり、その後活動が西に移動し、全体で震度 1 以上を観測する地震が 36 回発生した。



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

